

市民活動

新しい住民の参加する場

ふれあいホール周辺の活用

若い人が活動に関わる時間がない

ソーシャルキャピタル

自立したサークル運営

弱者の仕事お越し

ひとつの目標を持って団体が活動

市民活動に関心を持つ

激動の時代 各団体いつまで続くか?

「日野市」を団体名にあえてつける

外国人の増=異文化の活力による外国人の市民活動

市民

市民主導のスタンス

市民が担う自然との共存

若者が生活に追われている

50年後の人の事を考えて

自立した市民

お年寄りが活動を背中で見せる

行政と市民の関係の変化

危機感 市がどうなるか知らせていく

未来の日野市

フェイス to フェイス

いつまでも住みよいまち

住んで良かったまち

次世代に良い環境をつなぐ

今あることの延長に 50年がある

「脱福祉」 障害者と共に生きるまち

多摩平を原宿のようなまちに

着飾って歩く

50年後にノーベル賞受賞者

かつての七生村に戻る

健康都市 ひの

医療産業活性のまち

住まう

シェアハウス=留学生

生活の文化・質が魅力になる

新しく住んでもらうための魅力づくり

防犯・防災活動

地域に根差した・安心安全

災害=多摩への人口流入

セーフティネット

隣近所との関係

原発に頼らない暮らし

まちづくり

研究所の集積

職住近接の必要性

大学と連携

まちづくりは50年先見据えて

工場跡地の農地化

自然を守り災害に備える

豊田団地入居約50年
「子どもが住まない」

若い人を団地に呼び込む

歩いて気持ち良い住宅地

複合的にまちに取り込む

農業

農を通じて50年前に戻す

自立した農

温暖化による農業の危機